

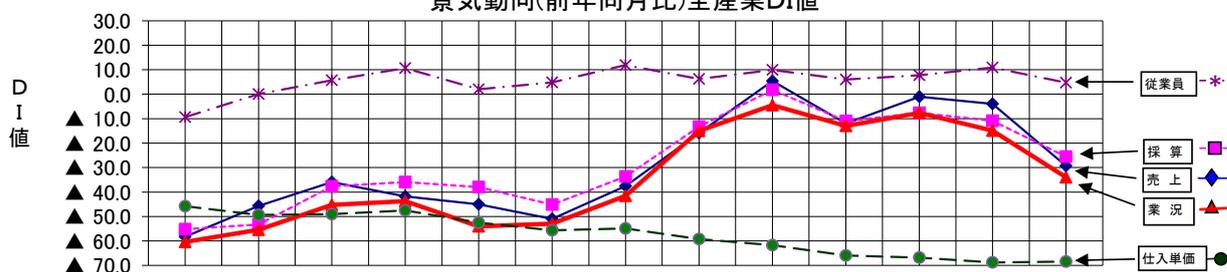
早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 9月分

【9月の概要】 原材料高騰の影響が深刻、特別警報発令による影響大 業況判断DI、先行き見通しDIとも大幅に悪化

業況判断を示すDI値は、売上・採算・業況DIで悪化、特に売上DIは前月比マイナス25.3ポイントと大幅に落ち込んだ。先行き見通しについても、仕入単価DI以外は10ポイント以上悪化している。

寄せられたコメントでは、①材料、燃料の高騰や納期遅延の言及が散見され、各業態に影響を及ぼしていること、②新型コロナ変異株の影響による特別警報発令により小売・サービス業では引き続き厳しい状況にあることが窺える。原材料高騰の影響がどこまで続くのか懸念される。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2020年 9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	2021年 9月
◆ 売上	▲ 58.3	▲ 45.7	▲ 35.9	▲ 41.8	▲ 45.0	▲ 51.0	▲ 37.6	▲ 15.9	5.4	▲ 12.0	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 29.3
■ 採算	▲ 55.2	▲ 53.3	▲ 37.7	▲ 35.9	▲ 38.0	▲ 45.2	▲ 33.7	▲ 13.3	1.8	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 10.9	▲ 25.5
▲ 業況	▲ 60.4	▲ 55.4	▲ 45.3	▲ 43.7	▲ 54.0	▲ 52.9	▲ 41.6	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 13.0	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 34.0
● 仕入単価	▲ 45.8	▲ 49.4	▲ 49.0	▲ 47.5	▲ 52.5	▲ 55.7	▲ 54.9	▲ 59.2	▲ 61.7	▲ 66.0	▲ 66.8	▲ 68.8	▲ 68.4
* 従業員	▲ 9.4	0.0	5.7	10.7	2.0	4.8	11.9	6.2	9.9	6.0	7.7	10.9	4.7

- ・プラス幅が減少したDI値：従業員6.2ポイント（需給均衡局面へ）
- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価0.4ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：売上▲25.3ポイント、採算▲14.6ポイント、業況▲19.1ポイント

向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
7月	3.9	▲ 10.6	▲ 4.8	▲ 35.6	14.4
8月	0.0	▲ 6.9	▲ 5.0	▲ 36.6	8.9
9月	▲ 12.3	▲ 17.0	▲ 20.8	▲ 34.0	11.3

- ・見通しが改善したDI値：仕入単価2.6ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲12.3ポイント、採算▲10.1ポイント、業況▲15.8ポイント、従業員2.4ポイント（人手不足局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備工事	食品製造加工業の設備投資増と、それに伴う仕事量の増加を見込んでいるが、求職者が全くいない。
	電気工事	新型コロナの影響で工事が先延ばしとなっており、業況に悪影響が及んでいる。
製造業	鋼材	前月と比較して、鋼材価格上昇と納期遅延がさらに進んだ感がある。
	機械製作	新型コロナの影響で宅配業者からの注文が増え、売上は昨年より増加。
卸売業	石油製品	公共事業の削減が影響している。
	機械工具等	材料値上げ状況も落ち着かず、電子部品の供給は不安定、製品は納期遅延が起きている。
小売業	百貨店	感染防止意識が高まり来店数減少が続いている。変異株の脅威とワクチン接種拡大の影響が不透明。
サービス業	飲食	仕入れ価格上昇、最低賃金上昇、コロナ不況のトリプルパンチにどう対処するか頭が痛い。
	看板業	材料・原油の高騰、ウッドショックによる影響が大きい。
タクシー		現在人が集まるのはワクチン接種会場だけ。業界全体の存続も懸念されるような状況。